

ABSTRACT OF ENGLISH TRANSLATION

Japanese Utility Model Laid-Open No. Heisei 4-54055

(JP UM Hei 4-54055)

Title of the Device:

Multi-Disc Player

Laid-Open Date:

May 8, 1992

Registration Range of Utility Model:

A multi-disc player comprising a slide table for sliding horizontally with a case, a rotating disc tray provided on said slide table, plural disc mounting units for receiving plural discs on said rotating disc tray on a plane surface, and a turn table for chucking and rotating said disc received in said disc mounting parts

the multi-disc player is characterized in that

when said slide table is withdrawn in said case, a center of the most front portion of said disc received in said disc mounting part among said plural disc mounting parts and a center of said turn table are constituted to substantially agree with.

公開実用平成 4-54055

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-54055

⑬ Int. Cl. *

G 11 B 17/24
17/035

識別記号

庁内整理番号

7719-5D
8110-5D

⑭ 公開 平成4年(1992)5月8日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 マルチディスクプレーヤ

⑯ 実 願 平2-94822

⑰ 出 願 平2(1990)9月11日

⑱ 考 案 者 今 井 邦 夫 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号 株式会社ケンウッド内

⑲ 出 願 人 株式会社ケンウッド 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号

明 細 書

1. 考案の名称

マルチディスクプレーヤ

2. 実用新案登録請求の範囲

筐体に対して水平にスライドするようにしたスライドテーブルと、前記スライドテーブル上に設けられた回転ディスクトレイと、前記回転ディスクトレイ上に複数枚のディスクを平面上に収納するようにした複数のディスク搭載部と、前記ディスク搭載部に収納されたディスクをチャッキングし回転させるためのターンテーブルとからなり前記スライドテーブルが筐体内に引き込まれた時、前記ディスク搭載部のうち最前部のディスク搭載部に収納されたディスクの中心と、前記ターンテーブルの中心とが略一致するように構成したことを特徴とするマルチディスクプレーヤ。

3. 考案の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

この考案はコンパクトディスクプレーヤ、レーザーディスクプレーヤ等に関する、マルチディスク



公開実用平成 4—54055

プレーヤに好適なディスク再生機構に係り、特にすみやかに再生動作を行わせる機構に関する。

(ロ) 従来技術

従来のマルチディスクプレーヤにおいては第3図に示すように、信号再生部4とターンテーブル4-1は筐体1の概略後方に位置している。従ってスライドテーブル2が筐体から引き出された状態で回転ディスクトレイ3の最前端にあったディスク搭載部、図の場合は3A1、をスライドテーブルが筐体に引き込まれた状態の時に再生位置である。信号再生部4のところに移動するためには、回転ディスクトレイ3を回転しなくてはならず、第3図の例ではディスク2枚分約144度右に回転しなくてはならない。従って信号再生状態となるまでに時間がかかってしまうと云う欠点があった。

(ハ) 考案が解決しようとする問題点

しかし、上記した従来のものにおいては、この欠点を克服するためにスライドテーブルの移動中に回転ディスクトレイを回転させて、再生位置に



持って行く例もあるが、この場合スライドテーブルの移動時間内に回転ディスクトレイの回転が終了する事が条件となる。

従ってスライドテーブルの移動時間を短縮しようとするれば回転ディスクトレイの回転時間を短縮しなくてはならず、回転ディスクトレイを短時間で所定の位置に停止させる事が問題となって来る。

この考案は上記した点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは従来例の欠点を解消し、ディスク搭載から信号再生開始へのすみやかな再生動作を可能にしたマルチディスクプレーヤを提供するところにある。

(二) 問題を解決するための手段

この考案のマルチディスクプレーヤは筐体に対して水平にスライドするようにしたスライドテーブルと、前記スライドテーブル上に設けられた回転ディスクトレイと、前記回転ディスクトレイ上に複数枚のディスクを平面上に収納するようにした複数のディスク搭載部と、前記ディスク搭載部



に収納されたディスクをチャッキングし回転させるためのターンテーブルとからなり前記スライドテーブルが筐体内に引き込まれた時、前記ディスク搭載部のうち最前部のディスク搭載部に収納されたディスクの中心と前記ターンテーブルの中心とが略一致するように構成したことを特徴とする。

(ホ) 作用

この考案によれば、第1図のスライドテーブルが引き出された状態で最前端的回転ディスク搭載部にディスクを置く。次に第2図のようにスライドテーブルが引き込まれると、回転ディスクトレイの最前端的ディスク搭載部に、搭載されたディスクは信号再生部のターンテーブルとその中心が概略一致し、ディスクをチャッキングすればすぐに再生出来る状態となる。

前記は最前端的回転ディスク搭載部にディスクを置く場合であるが、複数のディスクをセットする場合は回転ディスクトレイを移動して他のディスク搭載部にもディスクを搭載する。そしてその



時最前端に位置したディスクを最初に再生状態とすることが出来る。

(ヘ) 実施例

この考案に係るマルチディスクプレーヤの実施例を第1図及び第2図に基づいて説明する。

なお従来例と同一部分には同一符号を付してその説明を省略する。

第1図はスライドテーブル2が引き出された状態を、第2図はスライドテーブル2が引き込まれた状態をそれぞれ示す。

1は筐体、2はスライドテーブル、3は回転ディスクトレイ、 $3A_1, 3A_2, 3A_3, 3A_4, 3A_5$ はディスク搭載部、4は信号再生部、4-1はターンテーブルを示す。筐体1に対して水平方向にスライドして出入するようにしたスライドテーブル2、回転ディスクトレイ3はスライドテーブル2の上に搭載されており例えば5枚のディスクが搭載出来るように凹面を有する搭載部 $3A_1$ から $3A_5$ が形成されている。

4は信号再生部で第2図に示すようにスライド

テーブル 2 が引き込まれた状態で回転ディスクトレイ 3 の最前端に位置したディスク搭載部に搭載された、ディスクの中心穴とターンテーブル 4-1 の中心が概略一致するように配置される。

(ト) 考案の効果

この考案に係るマルチディスクプレーヤによれば最初に再生したいディスクを、回転ディスクトレイの最前端のディスク搭載部に置くことにより、ディスク搭載からスライドテーブルの引込みとディスクのチャッキング、再生開始までの時間が短縮され、素早く再生状態に出来る。

又スライドテーブルの移動中に回転ディスクトレイを回転させて、ディスクを信号再生部に移動する動作が不要となり、機能がシンプル化する。

しかも、構造が簡単であって、また、安価に構成することができるため実施も容易であるなどの優れた特長を有している。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図及び第 2 図はこの考案に係るマルチディスクプレーヤの実施例で、第 1 図はスライドテ



ブルが引き出された状態を示す図、第2図はスライドテーブルが引き込まれた状態を示す図、第3図は従来例を示す図である。

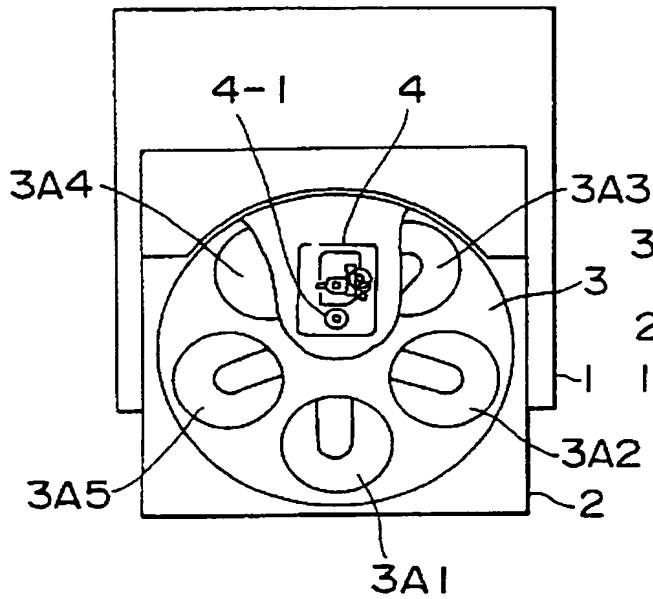
主な符号の説明

- 1 : 筐体
- 2 : スライドテーブル
- 3 : 回転ディスクトレイ
- 3A₁ ~ 3A₅ : ディスク搭載部
- 4 : 信号再生部
- 4-1 : ターンテーブル

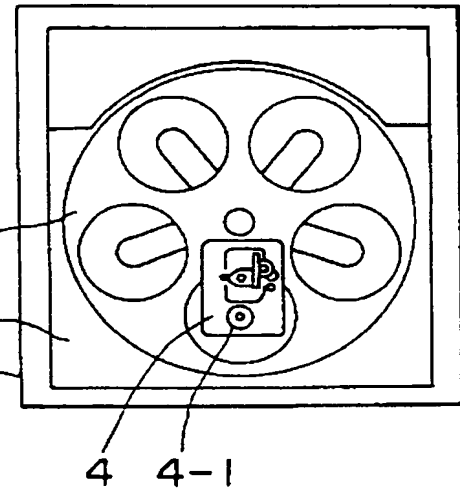
実用新案登録出願人 株式会社ケンウッド



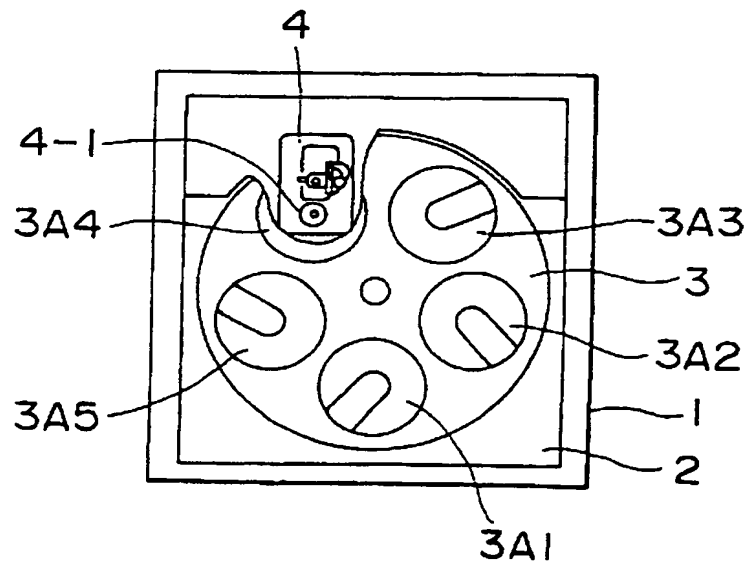
第 1 図



第 2 図



第 3 図



実開 4-54055

738

実用新案登録出願人
株式会社ケンウッド